

社会福祉法人東北福社会

令和6年度 事業報告

1. 法人全体の実施内容

<p>総括</p>	<p>各拠点において、各種サービス事業の稼働状況の向上を図ることで収益の増につなぐことができたが、建物の老朽化により修繕費用が増えたことや慢性的な超過勤務等により十分な支出の削減につながらず、収支差額の改善に課題が残された。</p> <p>また、令和4年度に策定をした中期行動計画（5か年計画）が3年経過することを踏まえ、中間の振り返りを実施した。（別添「KPTシート」参照）</p>
<p>実施項目</p>	<p>1. 中期行動計画の策定に係る取り組み事項</p> <p>(1) 人財採用チーム会議／年10回開催 (2) 人財育成・評価チーム会議／年12回開催</p> <p>(3) 運営環境整備チーム／年11回開催 (4) 労働安全チーム／年6回開催</p> <p>(5) 実習支援チーム／随時 (6) 事業運営・企画チーム／年8回開催</p> <p>2. 経営組織のガバナンス強化に係る取り組み事項</p> <p>(1) 理事会／年4回開催（6月13日・8月21日・12月11日・2月25日）</p> <p>(2) 評議員会／年3回開催（6月28日・12月23日・3月27日）</p> <p>(3) 監事／①決算監査：6月3日</p> <p style="padding-left: 40px;">②中間監事監査：11月18日</p> <p style="padding-left: 80px;">／せんだんの杜・認知症介護研究・研究仙台センター・本部事務局</p> <p style="padding-left: 40px;">③会計監査人による監査報告：6月5日</p> <p>(4) 会計監査／①期末監査の実施：5月20日～24日において各拠点で実施</p> <p style="padding-left: 40px;">②期中監査の実施：10月・11月・2月・3月において各拠点で実施</p> <p style="padding-left: 40px;">③理事長への監査報告：6月5日</p> <p>(5) 内部監査／せんだんの里：12月27日・せんだんの館：12月10日</p> <p>(6) 経営会議／年24回開催</p>
<p>主な内容</p>	<p>定款・諸規程の整備状況</p> <p>(1) 定款一部改正の実施</p> <p>(2) 組織規程一部改正の実施</p> <p>(3) 文書取扱規程一部改正の実施</p> <p>(4) 就業規則一部改正の実施</p> <p>(5) 短時間正規職員のための就業規則一部改正の実施</p> <p>(6) 育児休業および育児短時間勤務等に関する規則一部改正の実施</p> <p>(7) 介護休業及び介護短時間勤務等に関する規則一部改正の実施</p> <p>(8) 懲戒審査委員会規程一部改正の実施</p> <p>(9) 再雇用規程一部改正の実施</p> <p>(10) 給与規程及び認知症介護研究・研修仙台センター給与規程一部改正の実施</p> <p>(11) 准職員及び契約職員規程一部改正の実施</p> <p>(12) 預り金等管理規程一部改正の実施</p>

2. せんだんの杜実施内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">総括</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童・障がい・高齢の3つの領域に跨る「杜」では、各領域・部署が抱える「潜在化」した課題が把握しきれず対応の遅れへと繋がるのが課題となっていたが、組織の改編と職員の拠点内異動により改善が成された 2. 利用者主体の支援を行う為に必要な「職業人としての基礎姿勢」を図る内部研修をはじめとする人材育成を積み重ねた結果、利用率の向上と職員離職率の減少に繋がった（R6年度離職率 6.7% / 全国平均 15.9%） 3. 放課後等デイサービス3事業のうち、2事業を東北福祉大学喜心寮に統合し事業運営にかかる各種支出の削減を行った 4. 特別養護老人ホームリベラ荘内に就労支援事業を移転。高齢者施設内で障害者支援事業を実施する新たな取り組みを実現した
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 組織改編、拠点内人事異動 2. 各種事業の経営状況の分析（総収入約9%アップ） 3. 職員の業務効率化及び超過勤務の削減（前年度比較20%減） 4. 基礎姿勢強化の内部研修実施 5. 放課後等デイサービスの統合 6. 特別養護老人ホーム内への就労支援事業の移転（共生型福祉の実践）
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な内容</p>	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型せんだんの杜 杜の工房のリベラ荘併設箇所への移転 <p>【地域公益活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において中止していた認知症カフェ、ボランティア受け入れ、町内活動へのサポート、地域住民の趣味活動への場の提供等（地域貸し出し）

各サービス事業の実績と目標の比較

No	サービス事業所名	定員 (人)	R 6 年度実績 (%)	R 6 年度目標 (%)	R 5 年度実績 (%)	R 4 年度実績 (%)
1	特別養護老人ホーム リベラ荘 (従来型)	36	94.3	94.0	93.0	94.3
2	特別養護老人ホーム リベラ荘 (ユニット 型)	18	93.3	90.0	86.3	87.9
3	ケアハウスフェリコ 館	30	98.5	99.7	98.7	99.8
4	せんだんの杜短期入 所生活介護事業所	16	89.3	96.0	88.8	91.5
5	せんだんの杜訪問介 護事業所 (障がい)	—	※R6.9 廃止	※R6.9 廃止	※休止中	※休止中
6	せんだんの杜居宅介 護支援事業所	—	※R6.11 里に統合移転	※R6.11 里に統合移転	895 (件)	871 (件)
7	国見ヶ丘地域包括支 援センター	—	(予防) 3735 (件) (相談) 2142 (件)	—	(予防) 3598 (件) (相談) 2002 (件)	5,037 (件)
8	杜の子ハウス (放課後 等デイサービス)	10	108.7	116.0	105.5	98.0
9	遊杜家 (放課後等デイ サービス)	10	101.7	120.0	108.8	92.0
10	国見ヶ丘の家 (放課後 等デイサービス)	10	100.5	116.0	104.7	92.0
11	国見ヶ丘せんだんの 杜保育園	99	106	106	104 (名)	104.9 (名)
12	国見ヶ丘せんだんの 杜保育園分園	28	85.7	109.0	30.0 (名)	30.0 (名)
13	せんだんの杜地域子 育て支援センター	—	3144 (件)	100.0	1970 (件)	1374 (件)
14	せんだんの家 (自立援 助ホーム)	暫定 9	75.9	100.0	103 (名)	66.7
15	杜の工房 (就労支援 B 型)	20	106.8	104.0	120.3	163.0
備考	※1 2025.2.1 杜の子ハウス・遊杜家を統合 ※2 2025.2.1 杜の工房 定員 20 名から 30 名へ変更					

3. せんだんの杜ものう実施内容

<p>総括</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護報酬改定に対して各部署内で学びを深めることで制度理解に努め、新規加算の算定等による収益の向上と、提供するサービス内容の向上につなげる事ができた 2. 職員個々の知識・技術向上を支援する目的として、動画配信サービスの導入・活用を行い、職員のタイミングで学べる機会を設け、学習意欲向上につなげる事ができた 3. 地域課題の把握と関係づくりの一環として「食のフェスティバル」を地域住民、社協との協働により開催致し、多くの方が来所され、顔が見える関係作りの一助となった
<p>実施項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護報酬の改訂内容を正しく理解し、各サービス事業所における新規加算の取得等につなげ、サービス内容の充実化と収益増に対する取り組みを行った 2. 知識・技術を高めるために学習機会の増加を図るために、新たな取り組みとして動画配信サービスの導入を行うとともに、挨拶を基本とした態度の向上に向けた取り組みを行った 3. 地域に潜在化している課題把握やニーズの掘り起こしを目的として、地域住民や他機関との協働による取り組みを展開した 4. 食事量の管理によるフードロス対策、家具の配置見直し等により採光性を高める、事務用品の再利用等に取り組み、日頃からできる経費削減対策に職員全員で取り組んだ
<p>主な内容</p>	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特養・グループホームにおいて、新設された認知症ケアチーム推進加算の新規算定を行った。そのことによる増収ができたことだけでなく、職員の認知症に対する理解度向上に繋がった 2. 各種災害、感染症に対する学びの機会を設け、学び得た知識を基に実践訓練を繰り返し実施し、対応力向上に努めた 3. 各サービス（地域包括以外）に対し、宮城県並びに石巻市による運営指導等が特段の指摘事項もなく、「適切な運営ができています」との評価を受けた。今後も適切な運営及び、質向上に向けて、日々の確認と振り返り等の取り組みを全体で行っていく <p>【地域公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和6年1月に発生した能登地震における支援として複数名の職員を派遣し、福祉避難所等での活動に従事する事ができた。派遣された職員からの報告を受け、自事業所の防災や備蓄等の在り方、地域との連携方法の必要性について学びを深める事ができた。 2. 職員の発案により「ものう食のフェスティバル」を地域住民（主にものう運営委員の方々）と社協等との協働により令和6年9月に開催し、多くの来場者があり、顔の見える関係づくりのきっかけとなった。 3. 石巻地区老施協が主催する「介護・福祉フェスティバル」に多くの職員を派遣し、地域住民や学生等に対して介護・福祉に関する魅力を伝えるとともに、介護人財確保の機会に参画した。 4. 地域包括支援センターと居宅介護支援事業所および他機関と協働しての認知症カフェ、ケア会議、家族介護者を対象とした介護者教室、各種勉強会等を開催し、地域支援の充実化に取り組んだ。 5. 運営推進委員、地域住民、事業所との協働による催しを地域内で開催し、子どもや高齢者との多世代にわたる関係づくりに取り組んだ。

各サービス事業の実績と目標の比較

No	サービス事業所名	定員 (人)	R 6 年度実績 (%)	R 6 年度目標 (%)	R 5 年度実績 (%)	R 4 年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームファミリオ	62	93.1	98.5	92.9	93.6
2	ものう短期入所生活介護事業	3	114.7	99.0	101.5	76.1
3	地域福祉センター通所介護事業(月～金)	30	70.7	78.0	76.8	74.8
4	ケアハウスフェリカ	15	95.8	99.0	99.9	96.2
5	ものう訪問介護事業	—	451.3	450.0 (時間)	446.7	439.3 (時間)
6	ものう居宅介護支援事業	—	98.4	100.0 (件)	92.8	93.0 (件)
7	石巻市ものう地域包括支援センター	—	97.0	110.0 (件)	111.9	105.3 (件)
8	なかつやま認知症対応型共同生活介護事業	9	89.8	99.0	99.1	92.5
9	なかつやま第一通所介護事業(月～日)	10	62.5	80.0	74.1	70.7
10	うした認知症対応型共同生活介護事業	9	備考欄参照	備考欄参照	備考欄参照	85.4
11	うした通所介護事業(月～日)	10	備考欄参照	備考欄参照	備考欄参照	72.9
12	石巻市桃生地区第一放課後児童クラブ	40	13.4	20.0 (人)	16.6	12.1 (人)
13	石巻市桃生地区第二放課後児童クラブ	50	32.6	40.0 (人)	37.9	39.4 (人)
備考	特別養護老人ホームファミリオは、R5.10.1より定員を50人から62人へ変更 せんだんの杜ものう短期入所生活介護事業所は、R5.10.1より定員を12人から3人へ変更 地域福祉センター通所介護事業所は、R5.4.1より定員を25人から30人へ変更 うした認知症対応型共同生活介護事業所は、R5.4.30廃止 うした通所介護事業所は、R5.4.1休止、R5.4.30廃止					

4. せんだんの里

<p>総括</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業務内容の見直しと改善を行い、限られた人員体制の中でより効率的にサービスを提供することで収益の増加につながった。 2. エリア（国見ヶ丘）を意識した事業運営により、せんだんの杜とせんだんの里の居宅介護支援事業所を統合し事業の効率化を図った。あわせて、統合による人員体制の強化により介護報酬の収益増につながった。 3. 施設見学等各種イベントをとおして、近隣住民のボランティア活動の場になるとともに、働く場（雇用の創出）として、地域とつながることができた。
<p>実施項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業務内容の見直しや業務の切り分けを行い、既存の人員でより効率的に業務を行える体制の整備を図った。あわせて、一部のサービスを休止にすることで人員体制を整備した。 2. ストレスチェックを活用し、各部署の課題の洗い出しと業務の見える化を進め、業務改善と業務効率化を行った。 3. 職員の声を聴く場としてオープンカフェを設置し、毎月定例での開催により風通しのよい職場づくりと職員の意識改革を行った。 4. 利用者の家族や近隣地域住民と、新型コロナウイルス感染症が流行する前の関係性や距離感を取り戻すことを意識してイベント等を開催した。
<p>主な内容</p>	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の働きやすい環境づくりのため、拠点を超え法人内で情報を共有するとともに「職場健康づくり宣言事業所 健康診断特典」など、職員に有益な取組を取り入れ実践した。 2. 業務の見直しをとおして業務分担を明確にし、専門的な業務以外の部分に学生アルバイトを活用することで人の採用に係る費用削減につながった。 3. 入居判定会議を適宜開催し、入居までの期間の短縮を図るとともに、退居者が出た際に優先的に声をかける承認待機者を決めておくことでスムーズな入居につながり、稼働状況が改善した。 4. 利用者のニーズ調査の結果をもとに、デイサービスのリニューアルオープンにより、稼働状況が大幅に改善した。 5. 各種外部機関（主治医、訪問看護事業所等）と連携を図り個別ニーズへの対応を行うとともに、月1回のカンファレンスやグループホーム運営会議で事例検討をとおして認知症ケアの向上につなげる事が出来た。 <p>【地域公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 認知症カフェの開催（10回）、せんだんの里だよりの発行（12回）、施設見学会の開催（2回）、町内会合同定期清掃へ参加（4回）、インターンシップの受入（3人）、ホームページやソーシャルメディアによる情報発信（随時）、秋祭り等地域向けイベントの開催

各サービス事業の実績と目標の比較

No	サービス事業所名	定員 (人)	R 6 年度実績 (%)	R 6 年度目標 (%)	R 5 年度実績 (%)	R 4 年度実績 (%)
1	せんだんの里特別養護 老人ホーム	160	98.0	98.1	97.9	94.1
2	せんだんの里ショート ステイ(障がい福祉サー ビス含む)	17	80.6	90.5	80.2	72.8
3	せんだんの里デイサー ビス	30	76.2	70.0	66.9	65.8
4	せんだんの里国見ヶ丘 3丁目デイサービス	10	(廃止)	(廃止)		55.5
5	せんだんの里グループ ホーム	27	94.0	96.2	95.2	95.9
6	せんだんの里国見ヶ丘 3丁目グループホーム	9	(休止中)	(休止中)	95.2	100.0
7	せんだんの里居宅介護 支援事業所	—	1,417.5 (件)	1,260 (件)	1,111.5 (件)	1086.5 (件)
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・せんだんの里国見ヶ丘3丁目デイサービス：令和6年10月15日付廃止 ・せんだんの里国見ヶ丘3丁目グループホーム：令和6年10月31日付休止 ・せんだんの里居宅介護支援事業所：令和6年11月1日付せんだんの杜居宅介護支援事業所と統合 					

5. せんだんの館実施内容

<p>総括</p>	<p>1. 収入の安定に繋がるマネジメントの実施と、介護報酬改定に応じた収益の強化を図った。 2. 良質で効率的な介護サービスの提供に向けた働きやすい環境づくりを実施した。 3. 福祉実習教育の連携強化を図った。 4. 地域団体や住民との協働関係を築き、地域ニーズに即した地域公益事業を実施した。</p>
<p>実施項目</p>	<p>1. 空床期間短縮の強化 2. 介護保険改正に伴う新規加算等の取得 3. 生産性向上等を通じた環境づくり 4. 職員の学び直しの機会の促進と人財育成の強化 5. 東北福祉大学実習支援センターと法人実習支援チーム担当者との円滑な調整 6. 地域の福祉ニーズに対する関係機関との事業運営</p>
<p>主な内容</p>	<p>【制度に基づく取り組み】 1. 入退去者や入院日数の増加に伴い、入居申込者に対する調整日数の平均 10 日かかり、昨年度の 8 日を上回る結果となった。一方、特養の空床を利用したショートステイ利用者が延べ 102 日間であったことから、結果的に目標であった 7 日を達成した。 2. 褥瘡マネジメント加算他、入院時や在宅復帰に対応した新規加算を 6 項目取得し、増収につながげた。 3. Wi-Fi 環境の改善（補助金の利用）により介護記録業務の短縮につながった。 4. 自己啓発休暇の積極的活用の促進、大学や大学院へ入学した職員に対する組織的なバックアップ体制とキャリアデザインの支援を実施した。 5. 実学実習や各種資格実習の受入れを通じて、次世代育成に貢献できた。また、全部署の生活相談員がソーシャルワーク実習指導者養成講座の受講を修了し、実習受入れ体制を強化できた。</p> <p>【地域における公益活動】 6. 地域貢献活動を多層的・重層的に行うために、さらなる法人外のネットワークを構築した。 1)北仙台地区住民座談会/川平地区個別ケア会議/双葉ヶ丘包括アウトリーチ事業へ講師派遣 2)北仙台地区防災活動(3 回) 3)北仙台地区の地域清掃活動(12 回)、無料相談会(1 回) 4)認知症カフェ「ぷらっとカフェすまいる」の開催(20 回) 5)児童への学習支援(3 回) 6)人生会議ワークショップ(1 回) 7)生活困窮者への食品提供（仙台市社協からの依頼事業） 8)おたっしゅだより発行(4 回) 等</p>

各サービス事業の実績と目標の比較

No	サービス事業所名	定員 (人)	R 6 年度実績 (%)	R 6 年度目標 (%)	R 5 年度実績 (%)	R 4 年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームせんだんの館	100	97.4	98.5	98.1	97.9
2	せんだんの館ショートステイ	20	88.6	90.0	88.0	76.6
3	せんだんの館デイサービス	40	69.6	82.0	72.8	63.2
4	せんだんの館居宅介護支援事業所	—	76.6 (件)	76.0 (件)	75.8 (件)	74.0 (件)
備考						

6. 認知症介護研究・研修仙台センター実施内容

総括	<p>東北福祉大学を母体とする関連研究施設及び関連福祉施設等との連携を深めながら、1. 研究事業、2. 研修事業、3. 運営事業費補助金による事業、4. その他の事業を実施した。</p>
実施項目と主な内容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <p>1. 研究事業</p> <p>1) 運営事業費における研究事業</p> <p>(1) 認知症の本人と家族介護者における栄養・食事状況に関連する社会的要因の研究</p> <p>(2) 認知症の本人と家族介護者の社会参加の選択に関する研究</p> <p>(3) 認知症ケアの観点からみた虐待防止・身体拘束適正化に関する調査研究：令和6年度省令改正への地方自治体の対応状況</p> <p>(4) 認知症介護に関する On the Job Learning (OJL) システムの開発に関する研究</p> <p>(5) 認知症ケアレジストリ研究</p> <p>2) 厚生労働省委託事業</p> <p>(1) 高齢者虐待の実態把握等のための調査研究</p> <p>3) 老人保健事業推進費等補助金による研究事業</p> <p>(1) 認知症介護実践者等研修の研修内容に関する調査研究事業</p> <p>4) 日本学術振興会科学研究費による研究事業</p> <p>(1) 身体拘束適正化に向けた行政指導・介護施設における取組の実効性に関する研究</p> <p>(2) 認知機能に不安を抱く高齢者への就業継続支援：シルバー人材センターにおける検討</p> <p>2. 研修事業</p> <p>認知症介護指導者養成研修、認知症介護指導者フォローアップ研修、認知症介護基礎研修 eラーニング、認知症チームケア推進研修</p> <p>3. 運営事業補助金による事業</p> <p>運営協議会、外部評価委員会、全国運営協議会、認知症介護セミナー、行政担当者セミナー、認知症介護指導者スキルアップセミナー、認知症の人と家族の一体的支援プログラムー学びあいプラットフォームー</p> <p>4. 受託事業</p> <p>仙台市認知症ピアサポート活動支援業務（認知症カフェ派遣）</p> <p>5. その他事業</p> <p>認知症カフェモデレーター研修、認知症を学ぶ30分ナイトセミナー</p> <p>【地域における公益活動】</p> <p>認知症カフェ（土曜の音楽カフェ♪）の実施、おれんじドア運営の支援</p>

各研修事業の実績と目標の比較

No	研 修 名	定員 (人)	R 6 年度実績 (人)	R 6 年度目標 (人)	R 5 年度実績 (人)	R 4 年度実績 (人)
1	第 1 回認知症介護指導 者養成研修	20	1 9	1 8	1 5	1 4
	第 2 回認知症介護指導 者養成研修	20	1 9	1 8	1 2	1 5
2	第 1 回フォローアップ 研修	20	1 0	1 8	6	6
	第 2 回フォローアップ 研修	20	9	1 8	1 3	9
備 考						